

1. 実験概要、留意すべき項目

- AIカメラによる観光経路の渋滞状況や駐車場情報の満空状況把握及び情報提供、AIと連動した次世代モビリティの試行による情報提供モデルの構築や高度化を検証する。
- AIカメラによる駐車場満空情報を適切に観光客へ案内する事例として参考事例になる取組みとなること。

2. 実験内容、実験結果

①AI・ICT技術を活用した交通需要マネジメント

- ⇒AIカメラとデジタルマップを連携させた道路混雑状況の提供により、迂回路へ交通分担の向上や、駐車場満空情報の提供及び円滑な交通誘導により駐車待ち車両による渋滞が解消
- ⇒歩行空間創出に伴う利用者の満足度が向上し、松島海岸地区の観光客の滞在時間が増加

②多様なモビリティの運行によるシームレスな移動の実現

- ⇒シャトルバスの運行により、遠方駐車場の利用割合が増加し、松島海岸地区の交通量が減少したことで駐車待ち車両による渋滞が解消
- ⇒グリスロの運行により観光客の回遊性が向上したことで、海岸地区周辺店舗への立寄りが増加し、売上が向上



デジタルマップと連携したシャトルバスの運行状況



グリスロの運行状況

3. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
デジタルマップがグーグルマップの旅行速度と連携されているが、通行規制区間も渋滞しているように見えるため、通行規制の標記を実装にあたって検討してみてもどうか。	今後の参考にする。
タビマップの情報を誰がどのような情報を見たか確認できるか。	誰がアクセスしたかは確認できないが、どのような情報が見られたかの件数は確認できる。
グリーンスローモビリティの運行に関して今回は通行規制区間の運行であったが、規制をしてない区間の運行では工夫が必要とを感じる。	今後の参考にする。

4. 本格実施に向けた課題、今後の取り組み予定

課題	対応方針
AIカメラによる渋滞状況の提供だけではなく、渋滞予測等の機能も加え、より効率的に通行車両の分散化を図ることが望ましい。	今回の実験結果を踏まえ、今後の取り組み内容については松島町交通社会実験協議会にて検討を行う。
グリーンスローモビリティの運行方法について、より飲食店等への店舗への利用増加のため、発着点だけではなく主要な箇所へプラットフォームを設ける等の工夫が必要である。	今回の実験結果を踏まえ、今後の取り組み内容については松島町交通社会実験協議会にて検討を行う。

5. 今後のスケジュール

- 今後の取り組み内容については松島町交通社会実験協議会にて検討する。

6. 制度改正、マニュアル作成、全国展開に向けた提案

- AIカメラの活用した効率的な誘導に向けた施策に関し、設置箇所の選定にあたっては数か所で設置を行い、より適切な設置箇所を選定することで、有効なデータを取得できる。
- IoTを活用したデジタルマップの認知度強化のため、県外に対してもSNSを活用するなど積極的な広報を実施する必要がある。